

平成24年度
第8回市政モニターアンケート

環境未来都市について

北九州市市民文化スポーツ局広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1) 北九州市が環境未来都市であることの認知度	2
(2) 環境未来都市であることを誇りに思うか	4
(3) 環境未来都市として目指すべきまちの姿	5
(4) 環境分野で重点的に取り組むべきこと	7
(5) 超高齢化対応で重点的に取り組むべきこと	8
(6) 環境、超高齢化対応以外で重点的に取り組むべきこと	9
(7) 環境活動への参加経験について	10
(8) 具体的な環境活動について	11
(9) 地域活動への参加経験について	12
(10) 具体的な地域活動について	13
(11) 活動に参加したことがない理由について	14
(12) 活動に参加するきっかけについて	15
(13) 高齢者がいつまでも元気に過ごすために必要なこと	16
(14) 子どもを地域で安心して育てるために必要なこと	17
(15) “ていたん”の認知度	18
(16) 環境未来都市の効果的な広報について	19
(17) 環境未来都市に対する意見	20
IV 全体考察	21

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター 150人		
回答者数	131人 (回収率 87%)		
調査実施日	平成24年11月19日～平成24年12月 5日		
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査		
調査実施課	市民文化スポーツ局広聴課	TEL 582-2527	
調査依頼課	総務企画局政策調整課	TEL 582-2156	

II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	60 (40.0%)	90 (60.0%)	区 別			
				門司区	17 (11.3%)	7 (4.7%)	10 (6.7%)
20歳代	16 (10.7%)	4 (2.7%)	12 (8.0%)	小倉北区	28 (18.7%)	11 (7.3%)	17 (11.3%)
30歳代	32 (21.3%)	10 (6.7%)	22 (14.7%)	小倉南区	32 (21.3%)	13 (8.7%)	19 (12.7%)
40歳代	28 (18.7%)	7 (4.7%)	21 (14.0%)	若松区	13 (8.7%)	5 (3.3%)	8 (5.3%)
50歳代	25 (16.7%)	10 (6.7%)	15 (10.0%)	八幡東区	11 (7.3%)	4 (2.7%)	7 (4.7%)
60歳代	31 (20.7%)	17 (11.3%)	14 (9.3%)	八幡西区	39 (26.0%)	16 (10.7%)	23 (15.3%)
70歳以上	18 (12.0%)	12 (8.0%)	6 (4.0%)	戸畑区	10 (6.7%)	4 (2.7%)	6 (4.0%)

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

21世紀は「環境の世紀」と言われるように、世界はいま地球温暖化やエネルギー、資源枯渇、環境保全などの環境問題に直面している。

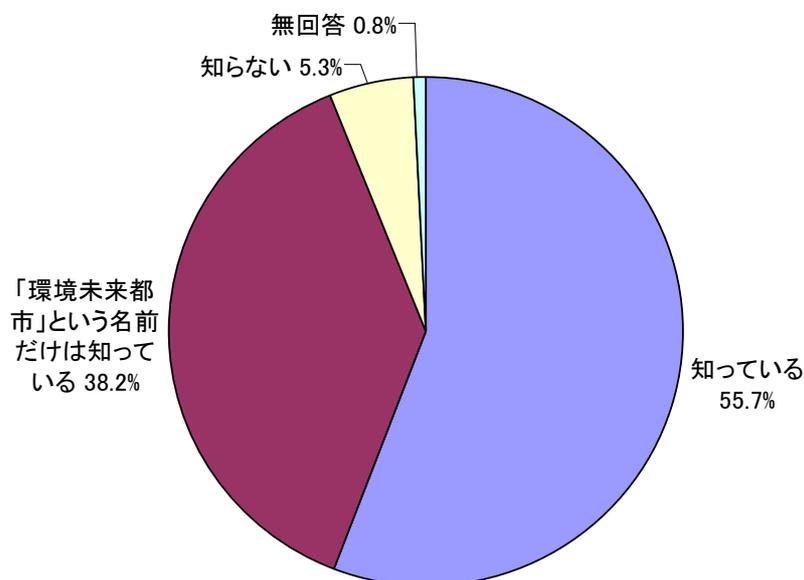
一方で、日本では、少子化とともに超高齢化（65歳以上人口が21%以上の状態）が急速に進み、2050年には65歳以上の高齢者が4割になることが見込まれている。高齢者が健康で充実した生活を送りながら社会の活力をいかに維持していくかということは、日本だけでなく世界の国々が将来に直面する課題でもある。

こうした環境や超高齢化という課題の解決に向けて、様々な先進的な取り組みを進め、国内外にその成功事例を広げていこうというのが「環境未来都市」構想である。平成22年6月に閣議決定された成長戦略では、国家戦略プロジェクトの一つとして位置づけられている。

国の募集に対して全国から30地域が提案を行い、平成23年12月、「北九州市環境未来都市」を提案した本市を含む11地域が選定された。北九州市環境未来都市では、環境や超高齢化などに対応するための様々な取り組みを進め、「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」の実現を目指している。

【北九州市が環境未来都市であることの認知度】

問1 あなたは、北九州市が「環境未来都市」であることを知っていますか？



		回答者数	知っている	「環境未来都市」という名前だけは知っている	知らない	無回答
全体		131人	55.7%	38.2%	5.3%	0.8%
性別	男性	53人	58.5%	34.0%	5.7%	1.9%
	女性	78人	53.8%	41.0%	5.1%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	28人	60.7%	28.6%	10.7%	0.0%
	40歳代	23人	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%
	50歳代	22人	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%
	60歳代	30人	53.3%	43.3%	0.0%	3.3%
	70歳以上	18人	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%
区別	門司区	16人	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26人	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%
	小倉南区	27人	63.0%	29.6%	3.7%	3.7%
	若松区	12人	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%
	八幡東区	10人	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	59.4%	34.4%	6.3%	0.0%
	戸畑区	8人	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%

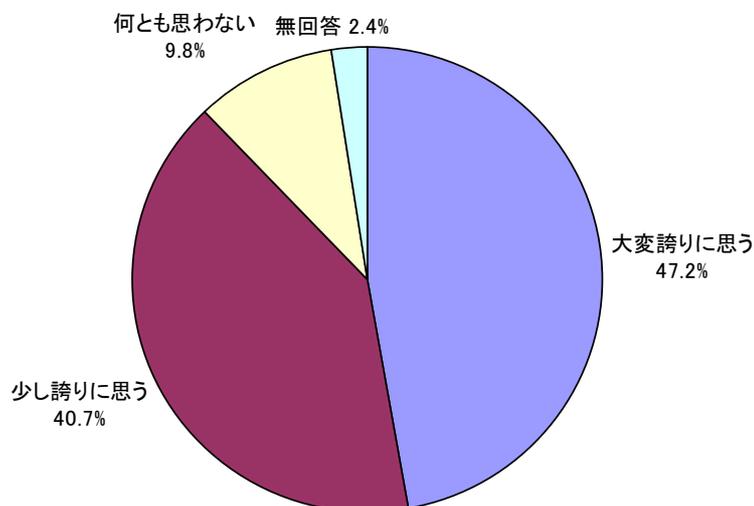
北九州市が「環境未来都市」であることについては、「知っている」（55.7%）と「名前だけは知っている」（38.2%）をあわせると93.9%となり、90%以上の方に認知されていた。

性別、年齢別、区別にみても、認知度の傾向に大きな違いはなかった。

【環境未来都市であることを誇りに思うか】

問2 <問1で1 知っている、2「環境未来都市」という名前だけは知っている>と答えた方におたずねします。

あなたは、北九州市が「環境未来都市」であることを誇りに思いますか？

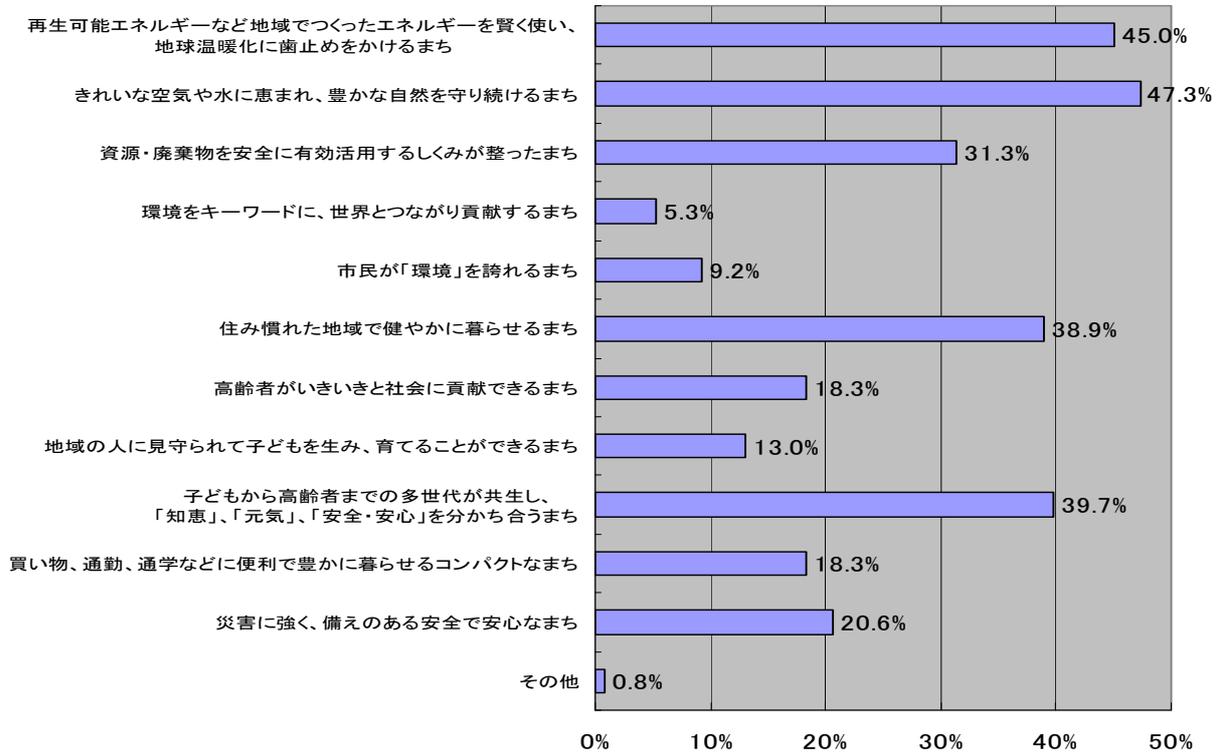


		回答者数	大変誇りに思う	少し誇りに思う	何とも思わない	無回答
全体		123人	47.2%	40.7%	9.8%	2.4%
性別	男性	49人	40.8%	40.8%	12.2%	6.1%
	女性	74人	51.4%	40.5%	8.1%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	25人	40.0%	44.0%	12.0%	4.0%
	40歳代	23人	43.5%	43.5%	13.0%	0.0%
	50歳代	20人	35.0%	45.0%	20.0%	0.0%
	60歳代	29人	51.7%	37.9%	3.4%	6.9%
	70歳以上	16人	50.0%	43.8%	6.3%	0.0%
区別	門司区	16人	12.5%	68.8%	12.5%	6.3%
	小倉北区	24人	37.5%	45.8%	12.5%	4.2%
	小倉南区	25人	64.0%	36.0%	0.0%	0.0%
	若松区	10人	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%
	八幡東区	10人	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	八幡西区	30人	46.7%	40.0%	13.3%	0.0%
	戸畑区	8人	50.0%	25.0%	12.5%	12.5%

北九州市が「環境未来都市」であることについては、「大変誇りに思う」（47.2%）と「少し誇りに思う」（40.7%）をあわせると87.9%となり、90%に近い方が誇りに思うと感じていた。

【環境未来都市として目指すべきまちの姿】

問3 あなたは、環境や超高齢化に対応する未来のまちとして必要な姿は何だと考えますか。もっとも重視するものを3つ選んでください。



		回答者数	再生可能エネルギーなど地域でつくったエネルギーを賢く使い、地球温暖化に歯止めをかけるまち	きれいな空気や水に恵まれ、豊かな自然を守り続けるまち	資源・廃棄物を安全に有効活用するしくみが整ったまち	環境をキーワードに、世界とつながり貢献するまち	市民が「環境」を誇れるまち	住み慣れた地域で健やかに暮らせるまち
			45.0%	47.3%	31.3%	5.3%	9.2%	38.9%
全体		131人	45.0%	47.3%	31.3%	5.3%	9.2%	38.9%
性別	男性	53人	47.2%	50.9%	37.7%	7.5%	9.4%	32.1%
	女性	78人	43.6%	44.9%	26.9%	3.8%	9.0%	43.6%
年齢別	20歳代	10人	60.0%	50.0%	50.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	30歳代	28人	32.1%	64.3%	28.6%	3.6%	3.6%	50.0%
	40歳代	23人	56.5%	56.5%	17.4%	0.0%	8.7%	26.1%
	50歳代	22人	63.6%	31.8%	36.4%	4.5%	9.1%	54.5%
	60歳代	30人	33.3%	33.3%	36.7%	10.0%	6.7%	40.0%
	70歳以上	18人	38.9%	50.0%	27.8%	11.1%	22.2%	33.3%
区別	門司区	16人	37.5%	43.8%	37.5%	6.3%	0.0%	56.3%
	小倉北区	26人	42.3%	50.0%	23.1%	3.8%	3.8%	50.0%
	小倉南区	27人	48.1%	48.1%	18.5%	0.0%	14.8%	37.0%
	若松区	12人	50.0%	41.7%	41.7%	0.0%	8.3%	33.3%
	八幡東区	10人	30.0%	50.0%	30.0%	20.0%	10.0%	20.0%
	八幡西区	32人	46.9%	46.9%	40.6%	6.3%	15.6%	31.3%
	戸畑区	8人	62.5%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	37.5%

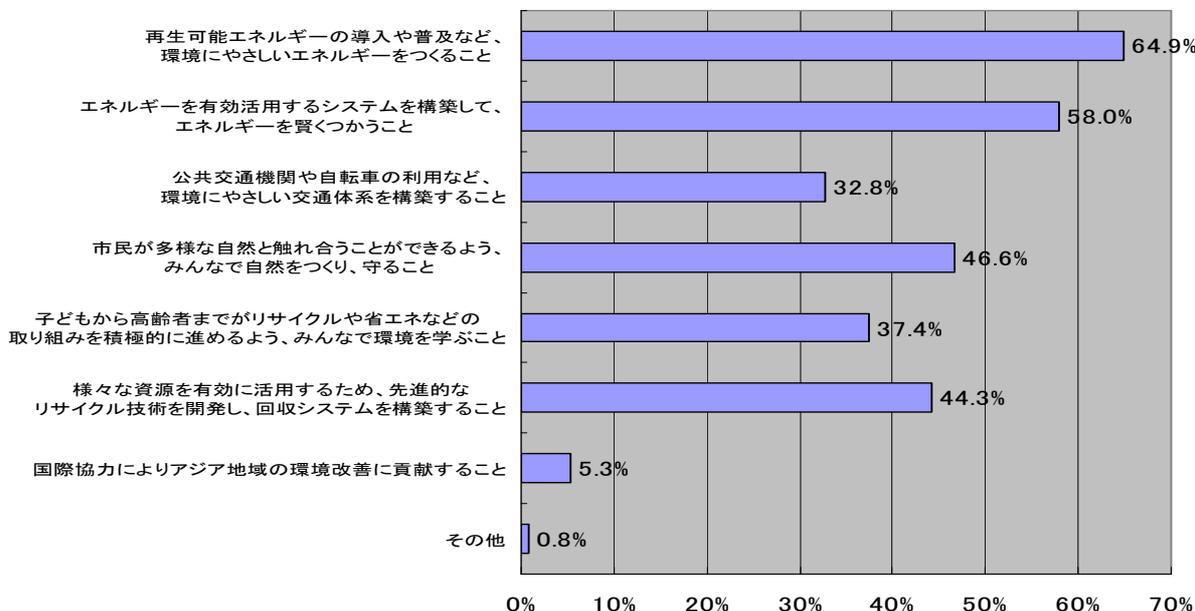
		回答者数	高齢者がいきいきと社会に貢献できるまち	地域の人に見守られて子どもを生き育てることのできるまち	子どもから高齢者までの多世代が共生し、「知恵」、「元気」、「安全・安心」を分かち合うまち	買い物、通勤、通学などに便利で豊かに暮らせるコンパクトなまち	災害に強く、備えのある安全で安心なまち	その他
	全体	131人	18.3%	13.0%	39.7%	18.3%	20.6%	0.8%
性別	男性	53人	17.0%	9.4%	37.7%	18.9%	15.1%	0.0%
	女性	78人	19.2%	15.4%	41.0%	17.9%	24.4%	1.3%
年齢別	20歳代	10人	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	30歳代	28人	7.1%	25.0%	39.3%	21.4%	25.0%	0.0%
	40歳代	23人	17.4%	13.0%	17.4%	21.7%	26.1%	4.3%
	50歳代	22人	13.6%	4.5%	50.0%	13.6%	13.6%	0.0%
	60歳代	30人	26.7%	3.3%	50.0%	20.0%	30.0%	0.0%
	70歳以上	18人	27.8%	11.1%	38.9%	22.2%	5.6%	0.0%
区別	門司区	16人	6.3%	25.0%	37.5%	31.3%	12.5%	0.0%
	小倉北区	26人	23.1%	0.0%	38.5%	23.1%	42.3%	0.0%
	小倉南区	27人	22.2%	14.8%	37.0%	18.5%	18.5%	3.7%
	若松区	12人	16.7%	25.0%	41.7%	8.3%	16.7%	0.0%
	八幡東区	10人	20.0%	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	八幡西区	32人	18.8%	12.5%	40.6%	15.6%	9.4%	0.0%
	戸畑区	8人	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%

環境未来都市として目指すべきまちの姿については、「きれいな空気や水に恵まれ、豊かな自然を守り続けるまち」（47.3%）、「再生可能エネルギーなど地域でつくったエネルギーを賢く使い、地球温暖化に歯止めをかけるまち」（45.0%）と、環境分野での回答が上位を占め、「子どもから高齢者までの多世代が共生し、『知恵』、『元気』、『安全・安心』を分かち合うまち」（39.7%）、「住み慣れた地域で健やかに暮らせるまち」（38.9%）と、超高齢化対応の回答がそれに続いた。

年齢別でみると、下の世代ではエネルギーや自然環境など環境分野への関心が高く、上の世代ではこれに加えて健康や多世代共生など超高齢化対応を重視する傾向がみられた。

【環境分野で重点的に取り組むべきこと】

問4 あなたは、将来に向けて環境分野で重点的に取り組むべきものは何だと考えますか。もっとも重視するものを3つ選んでください。

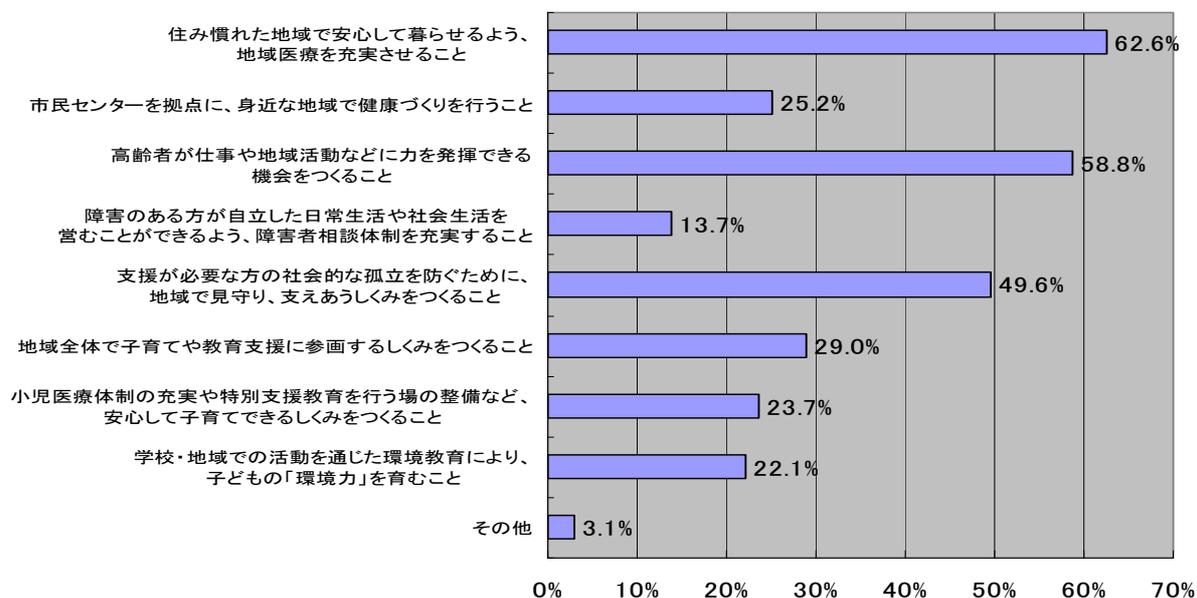


	回答者数	再生可能エネルギーの導入や普及など、環境にやさしいエネルギーをつくること	エネルギーを有効活用するシステムを構築して、エネルギーを賢くつかうこと	公共交通機関や自転車の利用など、環境にやさしい交通体系を構築すること	市民が多様な自然と触れ合うことができるよう、みんなで自然をつくり、守ること	子どもから高齢者までがリサイクルや省エネなどの取り組みを積極的に進めるよう、みんなで環境を学ぶこと	様々な資源を有効に活用する技術を開発し、回収システムを構築すること	国際協力によりアジア地域の環境改善に貢献すること	その他	
全体	131人	64.9%	58.0%	32.8%	46.6%	37.4%	44.3%	5.3%	0.8%	
性別	男性	53人	64.2%	58.5%	32.1%	41.5%	28.3%	56.6%	3.8%	1.9%
	女性	78人	65.4%	57.7%	33.3%	50.0%	43.6%	35.9%	6.4%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	50.0%	40.0%	30.0%	70.0%	40.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	28人	75.0%	53.6%	28.6%	53.6%	28.6%	42.9%	3.6%	0.0%
	40歳代	23人	65.2%	78.3%	39.1%	39.1%	34.8%	26.1%	13.0%	0.0%
	50歳代	22人	59.1%	45.5%	31.8%	40.9%	54.5%	36.4%	4.5%	4.5%
	60歳代	30人	70.0%	66.7%	26.7%	30.0%	40.0%	56.7%	6.7%	0.0%
	70歳以上	18人	55.6%	50.0%	44.4%	66.7%	27.8%	55.6%	0.0%	0.0%
区別	門司区	16人	62.5%	43.8%	25.0%	31.3%	31.3%	75.0%	6.3%	0.0%
	小倉北区	26人	65.4%	69.2%	30.8%	50.0%	38.5%	34.6%	3.8%	0.0%
	小倉南区	27人	59.3%	40.7%	44.4%	59.3%	48.1%	37.0%	3.7%	0.0%
	若松区	12人	66.7%	75.0%	25.0%	41.7%	25.0%	50.0%	8.3%	0.0%
	八幡東区	10人	60.0%	70.0%	30.0%	50.0%	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%
	八幡西区	32人	68.8%	59.4%	31.3%	43.8%	31.3%	46.9%	6.3%	3.1%
	戸畑区	8人	75.0%	62.5%	37.5%	37.5%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%

環境分野で重点的に取り組むべきこととしては、「再生可能エネルギーの導入や普及など、環境にやさしいエネルギーをつくること」（64.9%）、「エネルギーを有効活用するシステムを構築して、エネルギーを賢くつかうこと」（58.0%）、「市民が多様な自然と触れ合うことができるよう、みんなで自然をつくり、守ること」（46.6%）などに多くの回答が集まった。

【超高齢化対応で重点的に取り組むべきこと】

問5 あなたは、将来の超高齢化に対応するために重点的に取り組むべきものは何だと考えますか。もっとも重視するものを3つ選んでください。



	回答者数	住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域医療を充実させること	市民センターを拠点に、身近な地域で健康づくりを行うこと	高齢者が仕事や地域活動などに力を発揮できる機会をつくること	障害のある方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害者相談体制を充実すること	支援が必要な方の社会的な孤立を防ぐために、地域で見守り、支えあうしくみをつくること	地域全体で子育てや教育支援に参画するしくみをつくること	小児医療体制の充実や特別支援教育を行う場の整備など、安心して子育てできるしくみをつくること	学校・地域での活動を通じた「環境力」を育むこと	その他	
全体	131人	62.6%	25.2%	58.8%	13.7%	49.6%	29.0%	23.7%	22.1%	3.1%	
性別	男性	53人	56.6%	20.8%	66.0%	11.3%	43.4%	28.3%	22.6%	26.4%	5.7%
	女性	78人	66.7%	28.2%	53.8%	15.4%	53.8%	29.5%	24.4%	19.2%	1.3%
年齢別	20歳代	10人	40.0%	30.0%	30.0%	20.0%	50.0%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%
	30歳代	28人	46.4%	10.7%	60.7%	10.7%	42.9%	35.7%	35.7%	39.3%	0.0%
	40歳代	23人	73.9%	34.8%	43.5%	13.0%	52.2%	21.7%	21.7%	17.4%	4.3%
	50歳代	22人	72.7%	40.9%	59.1%	22.7%	54.5%	27.3%	0.0%	9.1%	4.5%
	60歳代	30人	70.0%	16.7%	70.0%	13.3%	43.3%	23.3%	23.3%	26.7%	6.7%
	70歳以上	18人	61.1%	27.8%	72.2%	5.6%	61.1%	38.9%	16.7%	16.7%	0.0%
	区別	門司区	16人	62.5%	25.0%	56.3%	6.3%	50.0%	50.0%	6.3%	25.0%
	小倉北区	26人	80.8%	34.6%	53.8%	7.7%	46.2%	7.7%	26.9%	15.4%	7.7%
	小倉南区	27人	55.6%	18.5%	48.1%	25.9%	37.0%	37.0%	40.7%	29.6%	0.0%
	若松区	12人	41.7%	8.3%	66.7%	16.7%	75.0%	25.0%	16.7%	25.0%	0.0%
	八幡東区	10人	70.0%	30.0%	90.0%	10.0%	40.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	八幡西区	32人	62.5%	25.0%	59.4%	12.5%	53.1%	34.4%	18.8%	25.0%	6.3%
	戸畑区	8人	50.0%	37.5%	62.5%	12.5%	62.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%

超高齢化対応で重点的に取り組むべきこととしては、「住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域医療を充実させること」（62.6%）、「高齢者が仕事や地域活動などに力を発揮できる機会をつくること」（58.8%）、「支援が必要な方の社会的な孤立を防ぐために、地域で見守り、支えあうしくみをつくること」（49.6%）が上位を占めた。

年齢別でみると、「住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域医療を充実させること」が40歳代～60歳代で70%以上の回答を集め、また、「高齢者が仕事や地域活動などに力を発揮できる機会をつくること」の回答が60歳代以上で70%を超えた。

【環境、超高齢化対応以外で重点的に取り組むべきこと】

問6 市民が中心の「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」を実現するために、上に述べた以外で重点的に取り組むべきだと考えるものがありましたら、ご自由にご記入ください。

主な意見を以下に紹介させていただきます。

《安全・安心に関する意見》（17件）

- ・ 環境よりも治安が優先
- ・ 暴力団の取り締まりを強化して、安心して暮らせるまちにすることが必要
- ・ 犯罪のない安心して暮らせるまちにするため、防犯・防災活動に力を入れる

《つながりや場の創出に関する意見》（9件）

- ・ 高齢者が1人で暮らしていても、隣近所と仲良くでき、楽しめるまち
- ・ 家に閉じこもらず、地域とふれあいが持てる環境の整備
- ・ 近所と関わりのない1人暮らしの方が増えているので、「孤独死」を防ぐ対策を

《交通に関する意見》（7件）

- ・ 高齢者や障害者が街なかまで気軽に出かけられるような公共交通インフラの整備
- ・ 高齢者の増加に伴い、小回りのきく足の確保が必要となるため、交通の利便性の向上
- ・ 子どもや高齢者が安心して行き来できる道路網の整備

《雇用に関する意見》（6件）

- ・ 雇用の充実。経済的に安心して暮らせるまち
- ・ 雇用が必要。若者に正規雇用の仕事が与えられるように取り組むべき
- ・ 子育てしながらでも働きやすい環境の整備

《イベントに関する意見》（6件）

- ・ 行政だけで企画開催するのではなく、企画段階から一般市民も参画できるイベントの開催
- ・ いろいろな年齢の方が参加してみたいと思うイベントの開催

《健康づくりに関する意見》（5件）

- ・ 大多数の市民が運動し、健康を維持できる仕組みを支援し、医療費抑制に努力すること
- ・ 早期に健康チェックできるような地域医療の確立

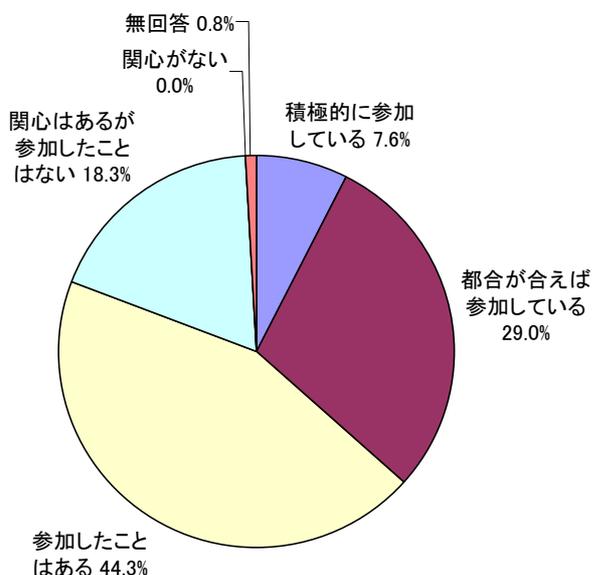
防犯や暴力団対策など「安全・安心」に関する意見がもっとも多かった。

また、「つながりや場の創出」、「交通」、「健康づくり」など超高齢社会に向けた環境整備に関する意見や、働きたい方が働くことのできる「雇用」の充実を求める意見、多くの市民が参加できる「イベント」の開催を求める意見もあった。

【環境活動への参加について】

問7 北九州市では、様々な団体により、地域における「まち美化活動」「自然保護活動」などの環境活動が数多く展開されています。そこで、おたずねします。

あなたは、このような環境活動に参加したことがありますか？



		回答者数	積極的に参加している	都合が合えば参加している	参加したことはある	関心はあるが参加したことはない	関心がない	無回答
全体		131人	7.6%	29.0%	44.3%	18.3%	0.0%	0.8%
性別	男性	53人	7.5%	30.2%	47.2%	15.1%	0.0%	0.0%
	女性	78人	7.7%	28.2%	42.3%	20.5%	0.0%	1.3%
年齢別	20歳代	10人	20.0%	10.0%	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	28人	0.0%	10.7%	60.7%	25.0%	0.0%	3.6%
	40歳代	23人	0.0%	26.1%	43.5%	30.4%	0.0%	0.0%
	50歳代	22人	9.1%	22.7%	45.5%	22.7%	0.0%	0.0%
	60歳代	30人	10.0%	50.0%	36.7%	3.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	18人	16.7%	44.4%	33.3%	5.6%	0.0%	0.0%
区別	門司区	16人	0.0%	18.8%	62.5%	18.8%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26人	11.5%	11.5%	50.0%	26.9%	0.0%	0.0%
	小倉南区	27人	3.7%	40.7%	48.1%	7.4%	0.0%	0.0%
	若松区	12人	8.3%	33.3%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	10人	10.0%	20.0%	30.0%	30.0%	0.0%	10.0%
	八幡西区	32人	12.5%	40.6%	31.3%	15.6%	0.0%	0.0%
	戸畑区	8人	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%

環境活動への参加については、「積極的に参加している」(7.6%)、「都合が合えば参加している」(29.0%)をあわせると36.6%となり、3分の1以上の方が日常的に環境活動に参加していた。

性別による差異はほとんどなく、年齢別で見ると60歳代以上では60%以上の方が日常的に参加していたのに対し、40歳代以下では30%以下となっていた。

【具体的な環境活動について】

問8 <問7で1 積極的に参加している、2 参加したことはあると答えた方におたずねします>

どのような活動に参加されましたか？

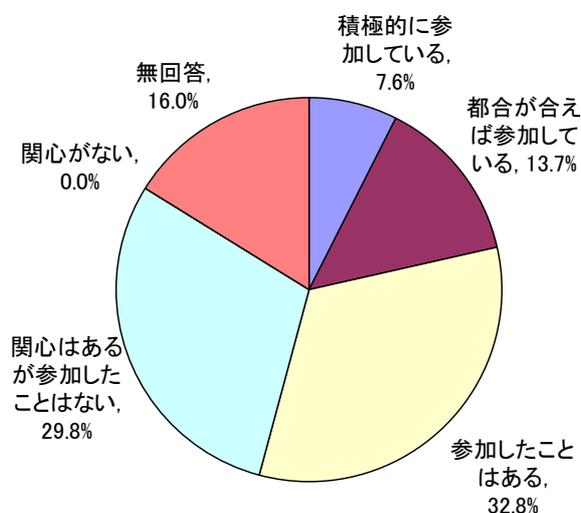
主な回答は次のとおりです。

- ・ 地域の清掃、ゴミ拾い（14件）
- ・ 公園の清掃、草取り（13件）
- ・ まち美化活動（13件）
- ・ 河川の清掃、ゴミ拾い（9件）
- ・ 海岸クリーン活動（4件）
- ・ 近所の空き缶やポイ捨てゴミの清掃（4件）
- ・ 公園の花植え活動（3件）
- ・ イベント終了後のゴミ拾い（2件）
- ・ リサイクル活動（2件）
- ・ 河川を利用した花公園整備と鑑賞会の開催（1件）
- ・ 花壇の手入れ、花植え（1件）
- ・ 駅前クリーン活動（1件）
- ・ 落ち葉の清掃（1件）
- ・ リサイクル活動（1件）
- ・ 清掃登山活動（1件）
- ・ 自然保護活動（1件）

地域や公園、河川、海岸など身近な場所での清掃活動を挙げた回答が多かった。そのほか、空き缶やポイ捨てゴミの清掃、リサイクルなど、個人で日常的に行っている活動に関する回答もあった。

【地域活動への参加経験について】

問9 北九州市では、地域における防犯活動やスクールヘルパーによる子どもの見守り活動などの地域活動が数多く展開されています。そこで、おたずねします。
あなたはこのような地域活動に参加したことがありますか？



		回答者数	積極的に参加している	都合が合えば参加している	参加したことはある	関心はあるが参加したことはない	関心がない	無回答
全体		131人	7.6%	13.7%	32.8%	29.8%	0.0%	16.0%
性別	男性	53人	7.5%	13.2%	30.2%	30.2%	0.0%	18.9%
	女性	78人	7.7%	14.1%	34.6%	29.5%	0.0%	14.1%
年齢別	20歳代	10人	10.0%	10.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	28人	3.6%	3.6%	25.0%	39.3%	0.0%	28.6%
	40歳代	23人	8.7%	13.0%	26.1%	34.8%	0.0%	17.4%
	50歳代	22人	9.1%	9.1%	27.3%	31.8%	0.0%	22.7%
	60歳代	30人	10.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	10.0%
	70歳以上	18人	5.6%	27.8%	50.0%	11.1%	0.0%	5.6%
区別	門司区	16人	0.0%	0.0%	43.8%	31.3%	0.0%	25.0%
	小倉北区	26人	11.5%	3.8%	30.8%	26.9%	0.0%	26.9%
	小倉南区	27人	7.4%	18.5%	37.0%	25.9%	0.0%	11.1%
	若松区	12人	8.3%	16.7%	25.0%	41.7%	0.0%	8.3%
	八幡東区	10人	10.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	20.0%
	八幡西区	32人	9.4%	25.0%	25.0%	31.3%	0.0%	9.4%
	戸畑区	8人	0.0%	12.5%	50.0%	25.0%	0.0%	12.5%

地域活動への参加については、「積極的に参加している」(7.6%)、「都合が合えば参加している」(13.7%)をあわせると21.3%となり、日常的に地域活動に参加している人の割合は環境活動に比べ低かった。

性別による差異はほとんどなく、年齢別で見ると60歳代以上では30%以上の方が日常的に参加していたのに対し、20歳代～50歳代では20%以下で、特に30歳代では10%以下であった。

【具体的な地域活動について】

問10 <問9で1 積極的に参加している、2 参加したことはあると答えた方におたずねします>

どのような活動に参加されましたか？

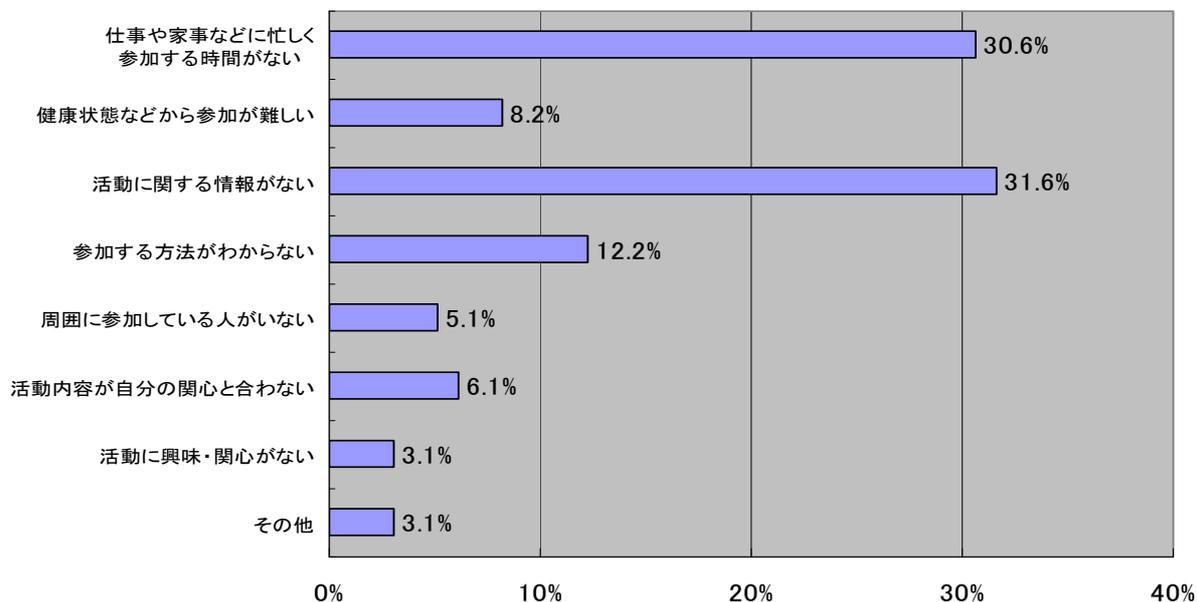
主な回答は次のとおりです。

- ・ 交通安全運動、通学路の旗持（11件）
- ・ 防犯パトロール（10件）
- ・ 地域の見守り活動（6件）
- ・ スクールヘルパー（6件）
- ・ 夜間パトロール（5件）
- ・ 「火の用心」の夜回り（3件）
- ・ 地域イベントの手伝い（2件）
- ・ 子どもが加入している地域団体の手伝い（2件）
- ・ 図書ボランティア（1件）
- ・ 市民センター催しへの参加（1件）
- ・ 郷土史の活動（1件）
- ・ 傾聴活動（1件）

通学路の交通指導やスクールヘルパーなど子どもの見守り・育成に関する活動と、防犯・防災のための地域の見回り活動など安全・安心に関する活動を挙げた回答が多かった。また、「郷土史の活動」のように自身の関心が地域活動につながっている回答もあった。

【活動に参加したことがない理由について】

問11 <問7、問9の両方で3 関心はあるが参加したことはない、4 参加したことはない
と答えた方におたずねします>
活動に参加したことがない主な理由は何ですか？

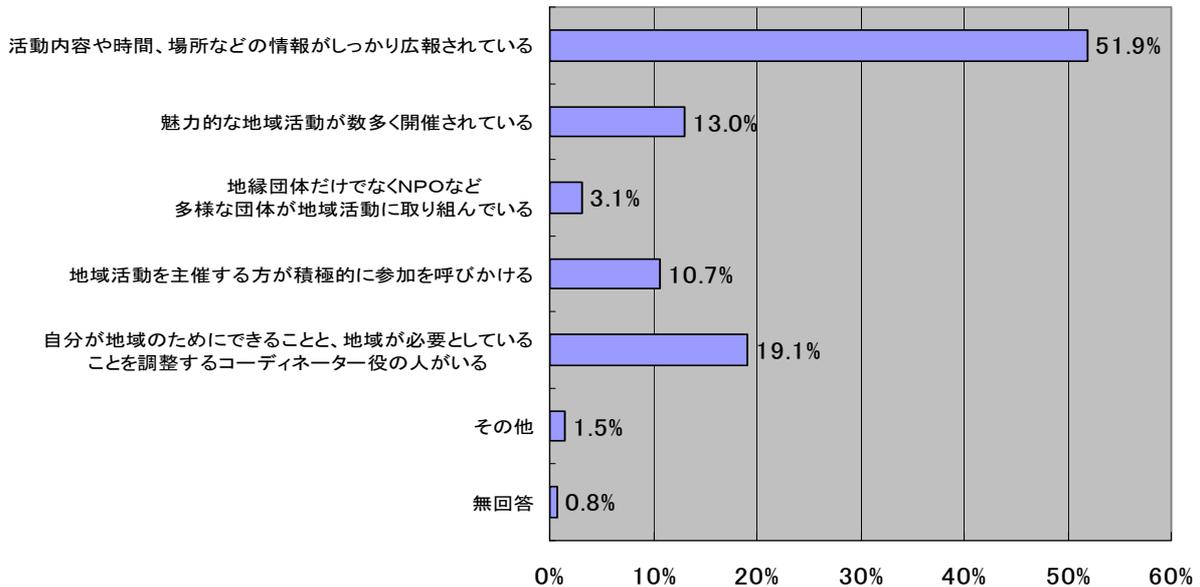


		回答者数	仕事や家事などに忙しく参加する時間がない	健康状態などから参加が難しい	活動に関する情報がない	参加する方法がわからない	周囲に参加している人がいない	活動内容が自分の関心と合わない	活動に興味・関心がない	その他
全体		98人	30.6%	8.2%	31.6%	12.2%	5.1%	6.1%	3.1%	3.1%
性別	男性	41人	26.8%	4.9%	36.6%	12.2%	7.3%	7.3%	2.4%	2.4%
	女性	57人	33.3%	10.5%	28.1%	12.3%	3.5%	5.3%	3.5%	3.5%
年齢別	20歳代	8人	75.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	24人	37.5%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	4.2%
	40歳代	18人	38.9%	5.6%	33.3%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%
	50歳代	17人	23.5%	17.6%	35.3%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%
	60歳代	21人	14.3%	4.8%	42.9%	9.5%	9.5%	14.3%	0.0%	4.8%
	70歳以上	10人	10.0%	30.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	15人	26.7%	26.7%	0.0%	6.7%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	22人	18.2%	4.5%	45.5%	18.2%	0.0%	4.5%	4.5%	4.5%
	小倉南区	19人	52.6%	10.5%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
	若松区	9人	11.1%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%
	八幡東区	6人	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	21人	38.1%	0.0%	33.3%	19.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%
	戸畑区	6人	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%

活動に参加したことがない理由については、「活動に関する情報がない」(31.6%)と「仕事や家事などに忙しく参加する時間がない」(30.6%)が多かった。
年齢別にみると、下の世代では「仕事や家事などに忙しく参加する時間がない」に、上の世代では「活動に関する情報がない」に多くの回答が集まる傾向がみられた。

【活動に参加するきっかけについて】

問12 多くの方に地域活動へ参加してもらうためのきっかけとして必要なことは何だと考えますか？



	回答者数	活動内容や時間、場所などの情報がしっかり広報されている	魅力的な地域活動が数多く開催されている	地縁団体だけでなくNPOなど多様な団体が地域活動に取り組んでいる	地域活動を主催する方が積極的に参加を呼びかける	自分が地域のためにできることと、地域が必要としていることを調整するコーディネーター役の人がいる	その他	無回答	
全体	131人	51.9%	13.0%	3.1%	10.7%	19.1%	1.5%	0.8%	
性別	男性	53人	47.2%	9.4%	0.0%	15.1%	22.6%	3.8%	1.9%
	女性	78人	55.1%	15.4%	5.1%	7.7%	16.7%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	28人	67.9%	17.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	40歳代	23人	56.5%	17.4%	4.3%	0.0%	21.7%	0.0%	0.0%
	50歳代	22人	50.0%	4.5%	9.1%	9.1%	22.7%	4.5%	0.0%
	60歳代	30人	40.0%	13.3%	3.3%	6.7%	33.3%	3.3%	0.0%
	70歳以上	18人	38.9%	5.6%	0.0%	44.4%	5.6%	0.0%	5.6%
区別	門司区	16人	56.3%	18.8%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26人	57.7%	7.7%	3.8%	3.8%	19.2%	3.8%	3.8%
	小倉南区	27人	63.0%	7.4%	0.0%	11.1%	18.5%	0.0%	0.0%
	若松区	12人	33.3%	16.7%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	10人	70.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	37.5%	15.6%	9.4%	15.6%	18.8%	3.1%	0.0%
	戸畑区	8人	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%

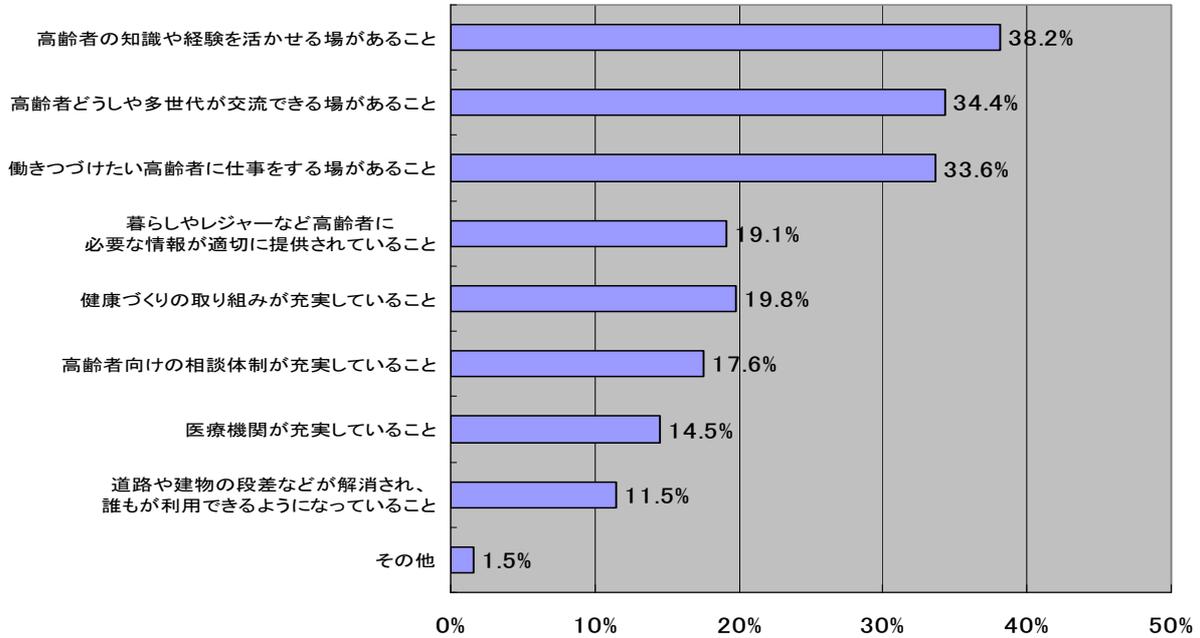
活動に参加するきっかけについては、「活動内容や時間、場所などの情報がしっかり広報されている」(51.9%)に多くの回答が集まった。

年齢別にみると、20歳代から60歳代までは「活動内容や時間、場所などの情報がしっかり広報されている」がもっとも多かったが、70歳代以上では「地域活動を主催する方が積極的に参加を呼びかける」のほうが多かった。

【高齢者がいつまでも元気に過ごすために必要なこと】

問13 北九州市は、平成22年に65歳以上の人口が25%を超え、さらに平成32年までには30%を超えることが予測され、超高齢化がますます進行することが見込まれています。そこで、おたずねします。

あなたは、高齢者が生きがいをもっていつまでも元気に過ごすために必要なことは何だと考えますか。もっとも重視するものを2つ選んでください。



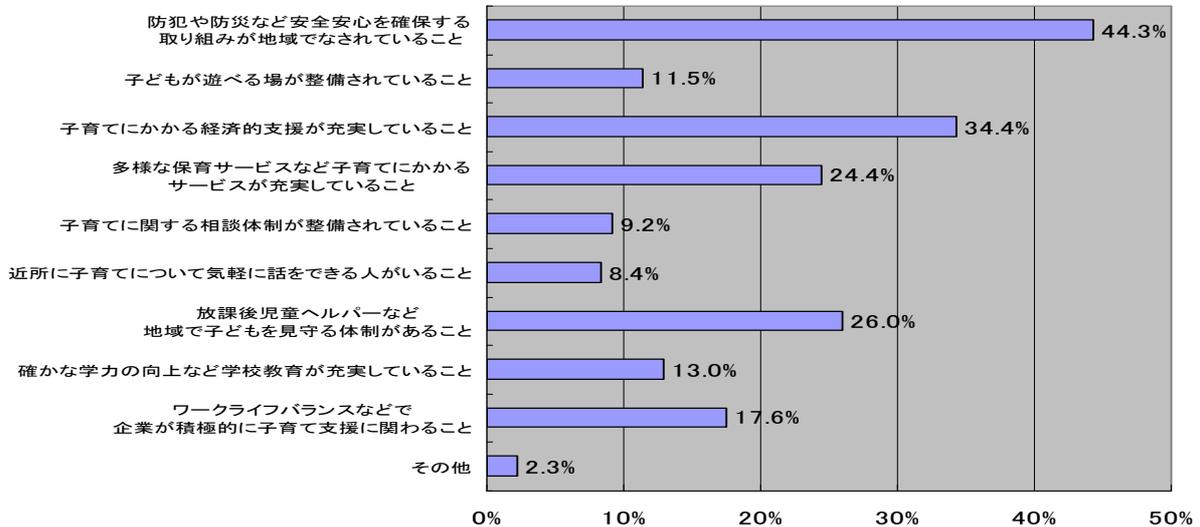
	回答者数	高齢者の知識や経験を活かせる場があること	高齢者どうしや多世代が交流できる場があること	働きつづけたい高齢者に仕事をする場があること	暮らしやレジャーなど高齢者に必要な情報が適切に提供されていること	健康づくりの取り組みが充実していること	高齢者向けの相談体制が充実していること	医療機関が充実していること	道路や建物の段差などが解消され、誰もが利用できるよになっていること	その他	
全体	131人	38.2%	34.4%	33.6%	19.1%	19.8%	17.6%	14.5%	11.5%	1.5%	
性別	男性	53人	41.5%	26.4%	35.8%	17.0%	28.3%	9.4%	17.0%	9.4%	3.8%
	女性	78人	35.9%	39.7%	32.1%	20.5%	14.1%	23.1%	12.8%	12.8%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	30.0%	50.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	30歳代	28人	32.1%	42.9%	50.0%	14.3%	7.1%	17.9%	10.7%	14.3%	0.0%
	40歳代	23人	39.1%	26.1%	30.4%	17.4%	21.7%	8.7%	17.4%	8.7%	0.0%
	50歳代	22人	45.5%	22.7%	18.2%	13.6%	13.6%	45.5%	18.2%	9.1%	4.5%
	60歳代	30人	40.0%	33.3%	33.3%	30.0%	20.0%	13.3%	10.0%	16.7%	3.3%
	70歳以上	18人	38.9%	38.9%	16.7%	27.8%	33.3%	11.1%	22.2%	5.6%	0.0%
	区別	門司区	16人	25.0%	12.5%	37.5%	31.3%	37.5%	18.8%	18.8%	18.8%
	小倉北区	26人	30.8%	30.8%	23.1%	19.2%	23.1%	26.9%	15.4%	11.5%	3.8%
	小倉南区	27人	33.3%	40.7%	33.3%	22.2%	22.2%	14.8%	18.5%	14.8%	0.0%
	若松区	12人	41.7%	33.3%	25.0%	16.7%	16.7%	25.0%	25.0%	16.7%	0.0%
	八幡東区	10人	60.0%	40.0%	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	46.9%	40.6%	43.8%	9.4%	9.4%	12.5%	12.5%	9.4%	3.1%
	戸畑区	8人	37.5%	37.5%	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%

高齢者がいつまでも元気に過ごすために必要なこととしては、「高齢者の知識や経験を活かせる場があること」(38.2%)、「高齢者どうしや多世代が交流できる場があること」(34.4%)、「働きつづけたい高齢者に仕事をする場があること」(33.6%)の3つが多かった。年齢別でみると、上記以外では、50歳代で「高齢者向けの相談体制が充実していること」が多くの回答を集めた。

【子どもを地域で安心して育てるために必要なこと】

問14 北九州市では、核家族化や共働き世帯の増加といった状況のなか、子どもを安心して育てられる環境づくりを進めています。そこで、おたずねします。

あなたは、子どもを地域で安心して育てるために必要なことは何だと考えますか。もっとも重視するものを2つ選んでください。



	回答者数	防犯や防災など安全安心を確保する取り組みが地域でなされていること	子どもが遊べる場が整備されていること	子育てにかかる経済的支援が充実していること	多様な保育サービスなど子育てにかかるサービスが充実していること	子育てに関する相談体制が整備されていること	近所に子育てについて気軽に話をできる人がいること	放課後児童ヘルパーなど地域で子どもを見守る体制があること	確かな学力の向上など学校教育が充実していること	ワークライフバランスなどで企業が積極的に子育て支援に関わること	その他	
全体	131人	44.3%	11.5%	34.4%	24.4%	9.2%	8.4%	26.0%	13.0%	17.6%	2.3%	
性別	男性	53人	49.1%	11.3%	35.8%	26.4%	5.7%	3.8%	20.8%	15.1%	11.3%	3.8%
	女性	78人	41.0%	11.5%	33.3%	23.1%	11.5%	11.5%	29.5%	11.5%	21.8%	1.3%
年齢別	20歳代	10人	30.0%	0.0%	50.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	30歳代	28人	28.6%	14.3%	46.4%	17.9%	7.1%	7.1%	17.9%	10.7%	32.1%	0.0%
	40歳代	23人	34.8%	13.0%	17.4%	30.4%	4.3%	13.0%	30.4%	13.0%	26.1%	0.0%
	50歳代	22人	68.2%	13.6%	18.2%	18.2%	18.2%	4.5%	31.8%	22.7%	4.5%	0.0%
	60歳代	30人	53.3%	13.3%	40.0%	23.3%	6.7%	10.0%	26.7%	10.0%	6.7%	10.0%
	70歳以上	18人	44.4%	5.6%	38.9%	16.7%	16.7%	11.1%	27.8%	16.7%	5.6%	0.0%
区別	門司区	16人	56.3%	18.8%	25.0%	0.0%	12.5%	6.3%	18.8%	25.0%	25.0%	0.0%
	小倉北区	26人	46.2%	19.2%	23.1%	26.9%	7.7%	15.4%	23.1%	15.4%	7.7%	3.8%
	小倉南区	27人	44.4%	11.1%	40.7%	37.0%	7.4%	3.7%	25.9%	7.4%	22.2%	0.0%
	若松区	12人	25.0%	0.0%	41.7%	16.7%	8.3%	16.7%	41.7%	25.0%	25.0%	0.0%
	八幡東区	10人	30.0%	10.0%	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%
	八幡西区	32人	40.6%	9.4%	37.5%	28.1%	6.3%	6.3%	34.4%	9.4%	15.6%	6.3%
	戸畑区	8人	75.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%

子どもを地域で安心して育てるために必要なこととしては、「防犯や防災など安全安心を確保する取り組みが地域でなされていること」(44.3%)がもっとも多く、「子育てにかかる経済的支援が充実していること」(34.4%)がそれに続いた。

年齢別にみると、30歳代以下では子育てに関する回答が多く、40歳代以上では安全安心に関する回答が多いという傾向がみられた。

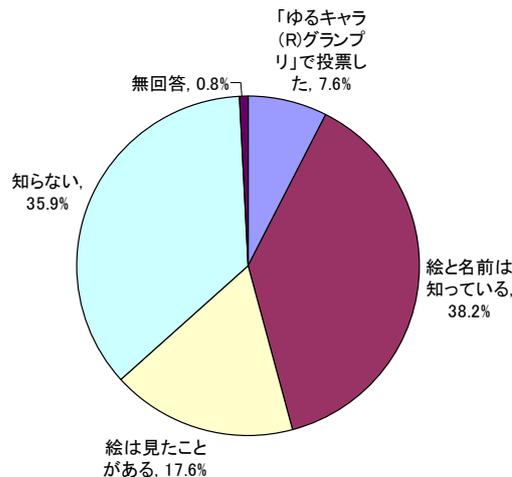
【“ていたん”の認知度】

問15 北九州市では、環境未来都市をPRするために、本市の環境マスコットキャラクター“ていたん”を「環境未来都市PR隊長」に任命しました。現在、日本中のゆるキャラ No.1を投票で決定する「ゆるキャラ(R)グランプリ」にもエントリーしています。そこで、おたずねします。

あなたは、“ていたん”を知っていますか？



北九州市環境未来都市PR隊長“ていたん”

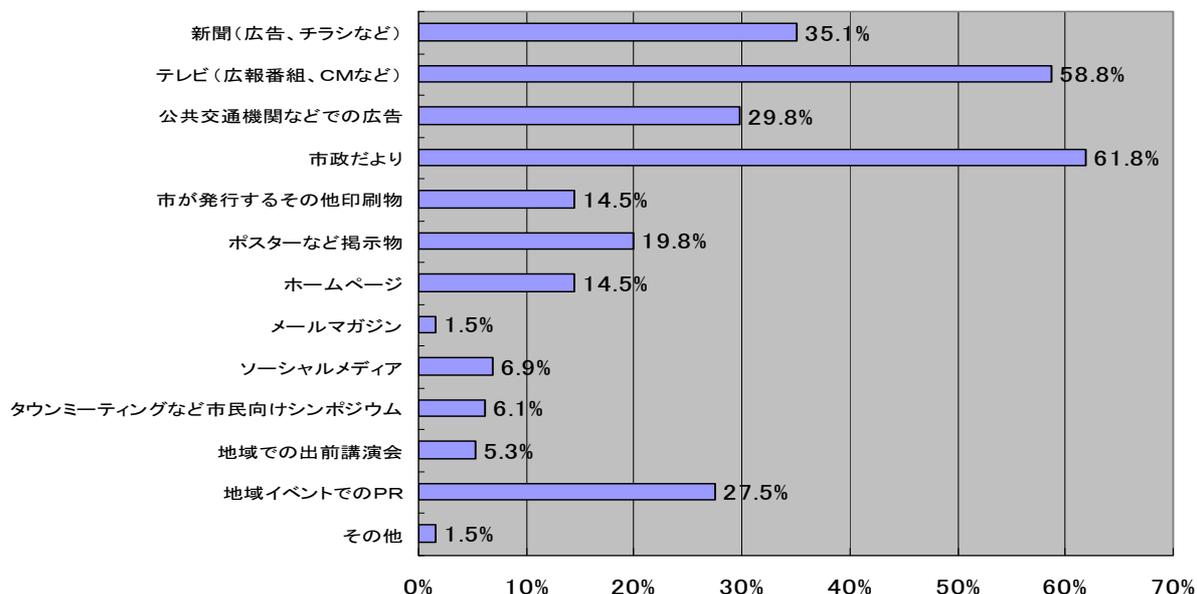


	回答者数	「ゆるキャラ(R)グランプリ」で投票した	絵と名前は知っている	絵は見たことがある	知らない	無回答	
全体	131人	7.6%	38.2%	17.6%	35.9%	0.8%	
性別	男性	53人	5.7%	32.1%	20.8%	39.6%	1.9%
	女性	78人	9.0%	42.3%	15.4%	33.3%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	30歳代	28人	3.6%	39.3%	7.1%	46.4%	3.6%
	40歳代	23人	0.0%	34.8%	30.4%	34.8%	0.0%
	50歳代	22人	13.6%	31.8%	13.6%	40.9%	0.0%
	60歳代	30人	6.7%	40.0%	23.3%	30.0%	0.0%
	70歳以上	18人	5.6%	44.4%	11.1%	38.9%	0.0%
区別	門司区	16人	0.0%	43.8%	18.8%	37.5%	0.0%
	小倉北区	26人	7.7%	30.8%	23.1%	38.5%	0.0%
	小倉南区	27人	11.1%	25.9%	14.8%	44.4%	3.7%
	若松区	12人	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
	八幡東区	10人	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	八幡西区	32人	6.3%	50.0%	15.6%	28.1%	0.0%
	戸畑区	8人	12.5%	37.5%	12.5%	37.5%	0.0%

“ていたん”については、「『ゆるキャラ(R)グランプリ』で投票した」(7.6%)、「絵と名前は知っている」(38.2%)、「絵は見たことがある」(17.6%)をあわせると63.4%となり、60%以上の方に認知されていた。

【環境未来都市の効果的な広報について】

問16 北九州市環境未来都市を多くの市民の方々に知っていただくための効果的な方法は何だと考えますか。重視するものを3つ選んでください。



	回答者数	新聞(広告、チラシなど)	テレビ(広報番組、CMなど)	公共交通機関などでの広告	市政だより	市が発行するその他印刷物	ポスターなど掲示物	ホームページ	メールマガジン	ソーシャルメディア	タウンミーティングなど市民向けシンポジウム	地域での出前講演会	地域イベントでのPR	その他	
全体	131人	35.1%	58.8%	29.8%	61.8%	14.5%	19.8%	14.5%	1.5%	6.9%	6.1%	5.3%	27.5%	1.5%	
性別	男性	53人	35.8%	47.2%	18.9%	62.3%	18.9%	17.0%	18.9%	1.9%	9.4%	9.4%	5.7%	24.5%	3.8%
	女性	78人	34.6%	66.7%	37.2%	61.5%	11.5%	21.8%	11.5%	1.3%	5.1%	3.8%	5.1%	29.5%	0.0%
年齢別	20歳代	10人	60.0%	80.0%	30.0%	30.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	30歳代	28人	25.0%	60.7%	28.6%	57.1%	14.3%	21.4%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	3.6%	35.7%	0.0%
	40歳代	23人	34.8%	73.9%	34.8%	56.5%	17.4%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%	4.3%	4.3%	30.4%	0.0%
	50歳代	22人	36.4%	59.1%	31.8%	68.2%	9.1%	22.7%	27.3%	0.0%	13.6%	4.5%	4.5%	13.6%	0.0%
	60歳代	30人	40.0%	36.7%	23.3%	73.3%	16.7%	23.3%	6.7%	3.3%	0.0%	10.0%	10.0%	36.7%	6.7%
	70歳以上	18人	27.8%	61.1%	33.3%	66.7%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%	16.7%	5.6%	16.7%	0.0%
区別	門司区	16人	31.3%	56.3%	31.3%	75.0%	18.8%	18.8%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%	31.3%	0.0%
	小倉北区	26人	30.8%	61.5%	30.8%	65.4%	26.9%	19.2%	11.5%	0.0%	7.7%	7.7%	3.8%	15.4%	3.8%
	小倉南区	27人	44.4%	66.7%	25.9%	59.3%	14.8%	18.5%	14.8%	0.0%	7.4%	3.7%	7.4%	25.9%	0.0%
	若松区	12人	58.3%	58.3%	41.7%	50.0%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	八幡東区	10人	30.0%	80.0%	30.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	八幡西区	32人	28.1%	46.9%	25.0%	65.6%	9.4%	15.6%	25.0%	0.0%	12.5%	6.3%	3.1%	37.5%	3.1%
	戸畑区	8人	25.0%	50.0%	37.5%	50.0%	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

環境未来都市の効果的な広報については、「市政だより」(61.8%)と「テレビ(広報番組、CMなど)」(58.8%)に多くの回答が集まった。

年齢別でみると、40歳代以下では「市政だより」より「テレビ」のほうが多く、50歳代以上では「テレビ」より「市政だより」のほうが多かった。

【環境未来都市に対する意見】

問17 北九州市環境未来都市について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

主な意見を以下に紹介させていただきます。

《環境に関する意見》（23件）

- ・ 環境を守ることにより、市の経済向上に結びつくような事業展開を望む
- ・ 二酸化炭素排出量規制など現実的でないものは止め、新エネルギーの開発やまちの美化などは現在より積極的に取り組んでいくことが必要
- ・ 環境に力を入れるためには、まず子ども達に、ゴミに対する考え方を教えていく必要がある
- ・ 安心、安全なものを食べたいので、食料自給率を高めることが大事。市民農園の人気の高いようなので、身近な場所でできるようになるとよい

《超高齢化対応に関する意見》（7件）

- ・ 高齢化が進んでいるが、非常に元気な方はたくさんいる。年齢を増しても、いきいきと元気に活動し、笑顔で暮らせるまちになればよい
- ・ 高齢者の方が、その人らしく輝いて日々を過ごせるよう、趣味であったり仕事であったり、人との関わりであったりを活かせる場を幅広く設けることが大事。経済的な面も含め、高齢者の生活を支える制度がもっと充実したものになればよい
- ・ 多くの空き家を活用して、高齢者の交流を図る場所を整備する

《全体に関する意見》（30件）

- ・ 環境未来都市を目指すには、一人ひとりの意識の向上が必要
- ・ 発展より市民が暮らしやすいまちができることを望む
- ・ 現状では市民参画が不十分なので、市民が自発的に活動に参加できる仕組みづくりが必要。できれば、取り組みが高齢者の生きがいつくりにつながればよい
- ・ 市政について関心を持って、意見・質問などを気軽にできる制度をつくって、市民で北九州市を作り上げていく気持ちを持てるようになることが理想

環境に関しては、環境保全やゴミの減量などについての取り組みや啓発を地道に続けていくべきだとする意見の一方で、経済的価値の創出につながる展開を期待する意見もあった。また、超高齢化対応に関しては、高齢者が地域や社会でいきいきと活動できる環境づくりを求める意見やその実現に向けた提案などが挙げられている。さらに、全体に関しては、環境未来都市の実現には市民の参画が不可欠という意見や、市民が取り組みに参加しやすいような仕組みをつくるのが重要だとする意見があった。

IV 全体考察

今回のアンケートは、平成23年12月に国から「環境未来都市」に選定され、平成24年度より取り組みを本格的にスタートさせたことを受け、環境未来都市に対する市民の意識を調査するために実施したものである。

アンケートは、大きく分けて、(1) 環境未来都市の認知度、(2) 環境未来都市に求めること、(3) 地域活動への参加経験、の3つの観点から構成されていた。

(1) 環境未来都市の認知度

北九州市が「環境未来都市」であることについては、「知っている」と「名前だけは知っている」をあわせると90%以上の方に認知されていた。また、「大変誇りに思う」と「少し誇りに思う」をあわせると90%に近い方に「環境未来都市」であることを誇りに感じていただけていた。

(2) 環境未来都市に求めること

環境未来都市として目指すべきまちの姿としては、「きれいな空気や水に恵まれ、豊かな自然を守り続けるまち」(47%)と、「再生可能エネルギーなど地域でつくったエネルギーを賢く使い、地球温暖化に歯止めをかけるまち」(45%)が多く回答を集めた。

環境分野で重点的に取り組むべきことの間いでは、「再生可能エネルギーの導入や普及など、環境にやさしいエネルギーをつくること」(65%)、「エネルギーを有効活用するシステムを構築して、エネルギーを賢くつかうこと」(58%)、「市民が多様な自然と触れ合うことができるよう、みんなで自然をつくり、守ること」(47%)が上位を占めた。こうした背景には、東日本大震災以降、エネルギー問題が多々取り沙汰されてきたことから高い関心に表れた結果と思われる。

また、超高齢化対応として、重点的に取り組むべきことの間いでは、「住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域医療を充実させること」(63%)、「高齢者が仕事や地域活動などに力を発揮できる機会をつくること」(59%)、「支援が必要な方の社会的な孤立を防ぐために、地域で見守り、支えあうしくみをつくること」(50%)に多くの回答が集まった。

なかでも、高齢者がいつまでも元気に過ごすために必要なこととして、「高齢者の知識や経験を活かせる場があること」(38%)、「高齢者どうしや多世代が交流できる場があること」(34%)、「働きつづきたい高齢者に仕事をする場があること」(34%)の3つが上位を占めた。このことは、高齢者人口が増加するなかで、これまで以上に、高齢者が地域や社会で活躍できる機会を設けることを重視すべきとの考えの表れと推察される。

(3) 地域活動への参加経験

環境活動には、30%以上の方が日頃から参加しているが、防犯活動や子どもの見守りなどの地域活動に参加している人は20%程度に留まっていた。年齢別で見ると参加率が高いのは60歳代以上で、地域活動が多くの高齢者によって担われているという実態が浮き彫り

となった。一方、活動に参加したことがない理由は、「活動に関する情報がない」(32%)がもっとも多く、次いで20歳代を中心に「仕事や家事などに忙しく参加する時間がない」(31%)が多かった。

また、活動に参加するきっかけとしては、過半数の人が「活動内容や時間、場所などの情報がしっかり広報されている」(52%)ことをあげた。今後、地域活動への参加を促していく際には、この結果に留意していく必要がある。

さらに、効果的な広報としては、「市政だより」(62%)と「テレビ」(59%)をあげる声が圧倒的に多かった。なかでも、若い世代では「テレビ」が、上の世代では「市政だより」が多くの回答を集めている。このことは、世代を対象に広報する際の効果的な方法を示唆するものである。

以上のような結果は、北九州市環境未来都市で進めようとしている取り組みの大きな方向性とほぼ一致している。また、環境や超高齢化に関して、重点的な推進が必要な取り組みについては、ご意見をいただいたので、これらを参考に取り組みを推進していきたい。特に、世代により異なる回答結果が得られたものもあるので、取り組みにあたっては、よりきめ細かく対応するよう留意していきたい。さらに、これまで以上に、多くの方々の参加も必要となってくることから、効果的な広報も参考としたい。

今後、市民・企業・行政など全市一丸となって環境未来都市の取り組みを推進し、「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」の実現に向けて取り組んでいきたい。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局市民部広聴課(TEL:582-2527)

【アンケートに関すること】

総務企画局政策部政策調整課(TEL:582-2156)